

公開講座を振り返って

一般社団法人
兵庫県相談支援ネットワーク 代表理事 玉木 幸則

今回は、ご縁があつて、講演をさせていただきました。ボクには、脳性まひという障害があります。その障害のひとつに話しづらいうので聞き取りにくいという特徴もあります。そんなボクが講演をさせてもらっていると、話し始めの時には、たまに眉間にしわを寄せながら聞いていらつしやる方や本当に聞き取りづらそうに見える方などがいらつしやいます。それが、途中からうなずきに変わったり、笑いがこぼれるように

なったりしてきます。
なぜそうなるのかいうと、

言語に障害が

あるというだけで、みなさんに話すのが大変なのでは？という先入観が生まれ、緊張も相まって「聞かなければ…」という気持ちの表れが、表情や仕草に出てくるだけなのです。それが、時間が経つにつれて、みなさんの耳や脳が、ボクのしゃべり方や声に慣れてきていくから、話の内容がすんなりと入ってくるようになるというわけです。

そもそもなぜ先入観が生まれてしまうのかといいますと、まずは

出会ったことがないから、これまでの経験の中で、限られた情報で障害のある人のことを見てしまふ。でも、同じ時間を一緒に過ご

していくことで、これまでの情報にないことが見えてくる。この時間を重ねていくことで、お互いのことがわかるようになってくるのです。障害のある人に限らず、世の中にはいろいろな人がいると頭ではわかっていると思います。

でも実際は、出会ったことのある人の情報しか我々は持ち合わせていないのです。そのことをふまえると、本当に誰ひとり取り残されないようにするために、何が必要なかということを考え続けること。そして、誰もが

公開講座に参加して

中川 さなみ

ともに生きていける社会になっていくためには、いろいろな人がいるという想像力を働かせて、お互いを認め合えるようになっていくことを願っています。一人ひとりがその人らしく生き続けられるために。

令和5年6月23日、『誰ひとり取り残されないまちづくり〜フル・インクルージョンをめざして』と題して、ビハラー兵庫公開講座が開催されました。

ご講師の玉木幸則先生が出演中のNHK・Eテレ「バリバラ」は、出演されている方々の発言に、「そうなんだなあ」「そういう風に考えておられるんだ」と新鮮な驚きと学びもあり、私が楽しみにしている番組です。今回の公開講座も内容の豊富なお講演でした。



NHK・Eテレ「バリバラ」ご意見番として活躍されている
玉木先生を講師に迎えた(2023.06.23)

「マイノリティーは少数派であるけれど、分類の仕方によって、すべての人がいつでもマイノリティーになる。」
「人間というくりでいくと、みんな一緒なんだけれど、それ以外では一人ひとり違って当たり前。誰ひとりまったく同じ人間なんていない。」
「見てわかる障害と見てもわからない障害があることをどこまで理解できているか。(玉木さんを見て)歩けない、話しづらいということとはわかっても、生きづらさ

精舎

わたしを
かえす
ところ

や暮らしづらさは見ても分からない。」と話されました。
確かに誰もが心に苦しみを抱えて生きているのだと思います。私自身も苦しみながら言えないことがあります。話さなければ理解されません。障害の有無に係なく、私たちは話し合って、互いの理解を深める必要があります。
玉木先生は四歳の終わりから、当時の優生施策によって、肢体不自由児療育施設に単独入園させられ、そこでは優生思想に基づいた障害の矯正（治療・訓練）が行われました。そして、家族・地域社会から分離されたせいで、親に甘えることもできなかったそうです。
障害当事者として玉木先生が

目指されているのは、「フル・インクルージョン」、どんな人でも『共に生きていくことができる社会』、今のありのままを受け入れて、これで良いのだと思うような社会です。
「みんなで命ある限り幸せに生きていこう！」ありがとうございました。



講演はYouTubeでライブ配信されアーカイブは200回以上再生された

ビハール兵庫の主な活動

- ・高齢者施設でのボランティア
- ・邑久光明園、長島愛生園での交流会
- ・緩和医療や福祉分野の研修会の開催 など

ビハール兵庫賛助会員

賛助会員とは、ビハール活動に興味があり、『私も何かできることはないだろうか』とおもわれる方に必見の制度です。賛助会員になりますと研修会等の活動のお知らせが届きます。まずは知るところから始めましょう。賛助会員に加入いただくだけでも、団体にとって大きな助けになります。

会 費

会員5千円・賛助会員3千円／年
研修会等のご案内を送付します。
ボランティア中の怪我などを補償する
県ボランティア保険に登録します。

विहार

